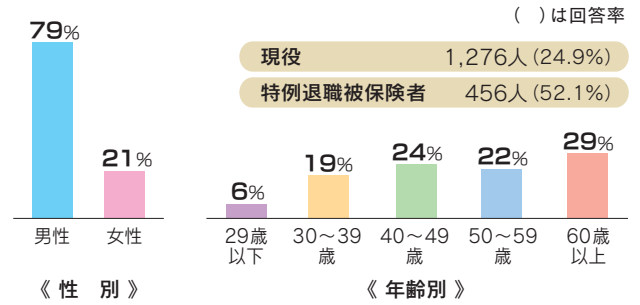




IBM 健保組合では、加入者のみなさまにご提供する各種プログラム等の保健事業について、今後の事業展開に活かしていくためのご意見・ご要望を広くお聞きするため、毎年「IBM 健保組合アンケート」調査を実施しています。今年度も昨年11月に、被保険者のみなさまのなかから6,000名の方を無作為に選んで調査を実施、1,700名ほどの方からいただいたご回答の集計結果をご報告します。ご協力いただき、ありがとうございました。

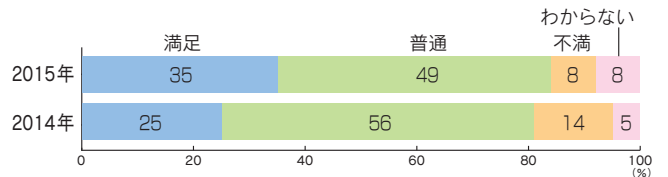
ご回答いただいたみなさま〈集計の内訳〉



IBM 健保組合の事業全体の満足度は？

IBM 健保組合の事業全体に対する満足度は2014年度から上昇しています。財政上の観点からここ数年、保健事業の見直しを進めてきましたが、2015年1月には直営保養所の閉鎖・売却を行い、3月には新たにIBM 健保組合クラブオフをスタートさせました。今後も限られた予算を有効活用し、疾病予防プログラムを中心としたサービスの質の向上に努めていきます。

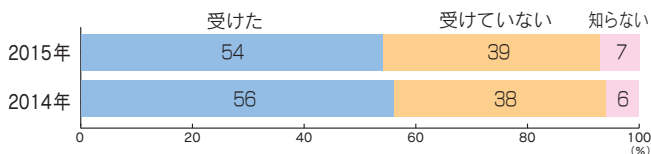
● IBM 健保事業全体について、どの程度満足していますか。



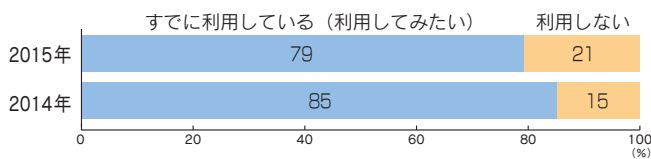
疾病予防プログラムについて

被扶養者で健診未受診の方は4割もいらっしゃいますが、必ず年1回、受診されることをお勧めします。インフルエンザプログラムは2016年度も継続します。

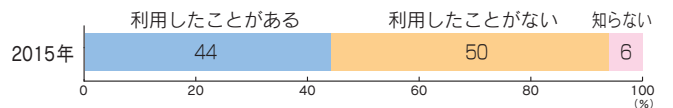
● 被扶養者は健診を受けましたか？



● インフルエンザ予防接種を利用しますか？



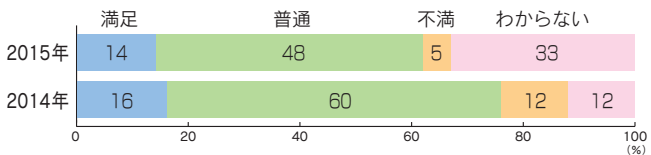
● 補助金対象となるオプション検診プログラム(乳がん・子宮がん・胃がん検診、人間ドック等)を利用したことがありますか？



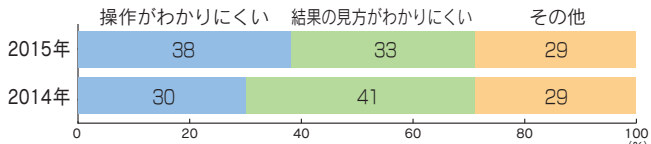
SSP (すこやかサポートPlus) について

SS21 (すこやかサポート 21) を2015年5月にSSPにリニューアルしたため、その影響で「わからない」が大きく増加したものと考えられます。「不満」の理由も「操作がわかりにくい」が最も多くなっています。今後、健診結果や医療費・ジェネリック通知、新コンテンツ等の機能を充実させ、健康増進ツールとして役立てていただけるよう改善していきます。

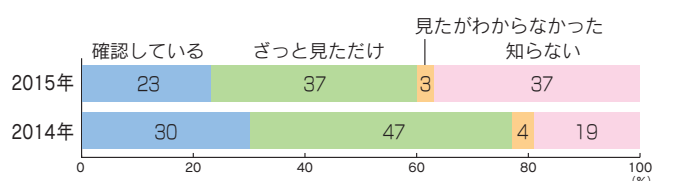
● SSPを利用されたご感想はいかがでしょう。



● SSPを利用されたご感想で「不満」と回答された方は、その理由をお聞かせください。



● お問い合わせいただく内容のほとんどは、初期ID/PWの通知案内に含めたURL (健保ホームページ内:「はじめにお読みください」)に回答が含まれています。この内容をご確認いただいていますでしょうか。

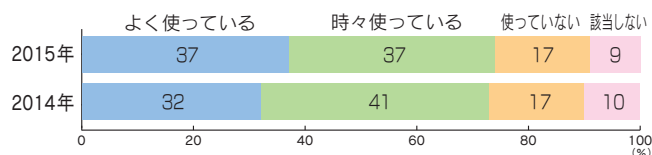


※グラフの2014年はSS21に対する数字です。

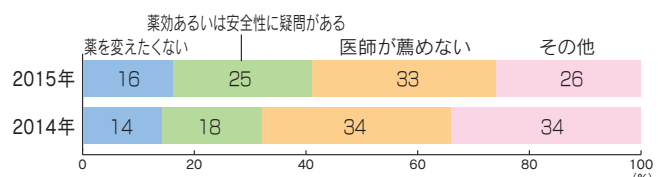
ジェネリック医薬品（後発医薬品）について

ジェネリック医薬品を利用したことがある人は微増にとどまりました。やはり、安全性や薬効の面で不安を感じていらっしゃる方が、依然として多いことが原因と考えられます。IBM 健保組合では、SSP 等の活用により、ジェネリック医薬品の安全性等に関するさらなる情報発信を行い、積極的に利用していただくよう、今後も呼びかけていきます。

●ジェネリック医薬品をご利用になったことがありますか？



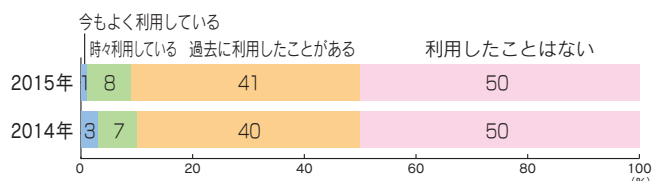
●ジェネリック医薬品を「使っていない」と回答された方は、その理由をお聞かせください。



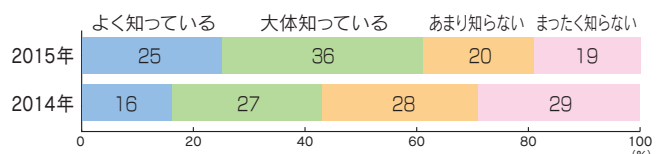
整骨院・接骨院（柔道整復師）について

整骨院・接骨院を利用したことがある方はほぼ半数と、毎年度変わらない状況です。しかし、健康保険適用の傷病に限られていることをご存じの方は6割を超えて前年度に比べ大きく増加しており、理解度が進んでいることを示しています。今後も、正しい整骨院・接骨院のかかり方について周知に努めていきます。

●整骨院・接骨院（柔道整復師）を利用したことはありますか？



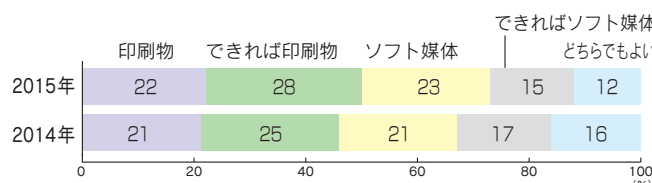
●整骨院・接骨院で健康保険が適用できる傷病は限られていますが、ご存じですか？



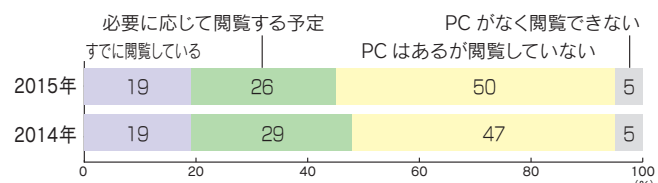
情報のご案内方法について

健保組合は、毎年度の予算や決算、そして各種事業などに関してみなさまにお知らせすることが義務付けられていますが、その手段として印刷物を希望される方は少なくありません。したがって現段階では、情報提供のあり方としてホームページだけでは十分とはいえないと考えています。その一方、ご家族の閲覧できるパソコン環境は95%に達しており、ご家族に対してもWebによる情報提供を行っていく必要がありますので、今後もSSPの活用を進めていきます。

●印刷物による開示とWeb等を利用したソフト媒体による開示、どちらを希望しますか？



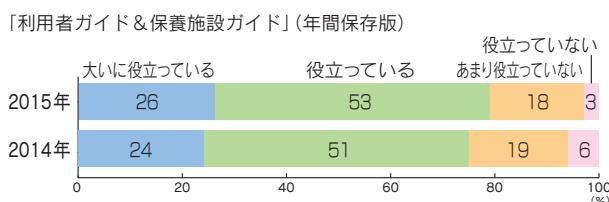
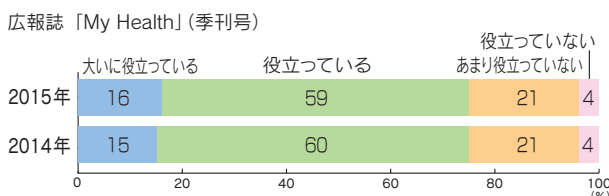
●ご家族の健保ホームページを閲覧することができるパソコン（タブレット、スマートフォンを含む）環境についてお聞かせください。



各種印刷物・健保ホームページについて

年4回発行の季刊広報誌「My Health」、毎年発行の「利用者ガイド&保養施設ガイド」等の印刷物、それにホームページについても、多くの方々に役立てられています。これらは、IBM 健保組合の事業のほか、健康保険に関する知識や制度改正、みなさまの健康管理・健康づくりのための情報提供を行う手段として欠かせない媒体と考えています。したがって、ホームページやSSPの活用などWebによる情報提供を図るとともに、印刷物による紙媒体での情報提供についても、今後、継続していきます。

●各種印刷物は役に立っていますか？



事業の柱となる項目について、アンケートの集計結果をご報告させていただきました。来年度の保健事業プログラムの運営に活かしてまいります。